

令和5年度
飯塚市地域包括支援センター事業報告

令和6年4月
飯塚市 福祉部 高齢者支援課

地域包括支援センター事業報告書

はじめに

高齢者の心身の健康維持及び生活の安定のため、また、住み慣れた地域で尊厳ある在宅生活を続けられるよう、医療、介護、予防、住まい、生活支援が一体的に切れ目なく提供される地域包括ケアシステムの充実を目指すことを目的として、「介護予防・日常生活支援総合事業における介護予防ケアマネジメント業務及び一般介護予防事業」、「包括的支援業務における総合相談支援業務、権利擁護業務、包括的・継続的ケアマネジメント業務」、「指定介護予防支援業務」について、「公益性」「協働性」「公平性」を基本的な視点及び理念としながら令和5年度地域包括支援センター運営方針に基づき実施しました。

1 飯塚市の人口

総人口、高齢者人口及び高齢化率（令和6年3月末時点）

	総人口 (人)	65歳以上人口 (人)	高齢化率 (%)
男	59,398 (△ 209)	16,526 (△ 45)	27.82% (0.02%)
女	65,031 (△ 529)	23,700 (△ 5)	36.44% (0.28%)
合計	124,429 (△ 738)	40,226 (△ 50)	32.33% (0.15%)

※ ()内は前年度同月比増減

2 地域包括支援センターの運営状況（令和6年3月末現在）

(1) 委託方式 11箇所

(2) 地域包括支援センター職員の配置状況（準じた職員を含む）

単位：人

担当包括	飯塚・片島 立岩(一部)	飯塚東 菰田	立岩(一部) 鯉田	二瀬	幸袋	鎮西
管理者	(1)	(1)	(1)	(1)	(1)	(1)
保健師	1	1	1	1	1	1
主任ケアマネ	1	1	2	0	1	1
社会福祉士	0	1	1	1	1	1
ケアマネ	4	3	1	4	1	1
事務職等	0	0	0	1	0	0
合計	6	6	5	7	4	4
担当包括	穂波東	穂波西	筑穂	庄内	穎田	
管理者	(1)	(1)	(1)	(1)	(1)	
保健師	1	1	1	1	1	
主任ケアマネ	1	2	1	1	1	
社会福祉士	1	1	1	1	0	
ケアマネ	2	4	2	2	1	
事務職等	0	0	0	0	0	
合計	5	8	5	5	3	

()内は兼務職員

3 介護予防・日常生活支援総合事業（令和6年3月末時点）

(1) 総合事業対象者における介護予防ケアマネジメント業務

事業対象者の方の多様な生活支援ニーズに対応するため、具体的な目標を明確にしつつ、心身の状況や生活環境、生活機能低下の原因に応じた総合的かつ効果的な支援計画を作成し、サービス提供の確保に努めました。

また、一定期間経過後には初期目標の達成状況を評価し、必要に応じて計画の見直しを行いました。

(2) 一般介護予防事業

転倒リスクや閉じこもり傾向等の何らかの支援を要する者の把握に努め、高齢者の生活機能の維持・向上に努めるため、各種教室等を開催しました。

また、高齢者が自らの虚弱度に気づくことのできるフレイルチェック及びフレイル予防に取り組むためのプログラム、認知症予防教室の各教室の実施会場を増やし、各地域で受講しやすいように環境を整え実施しました。

一般介護予防事業実施状況（令和6年3月末現在）

項目	開催回数 (回)	延べ参加者数 (人)	実参加者数 (人)	中止回数 (回)
高齢者筋力アップ教室	180	4,098	398	0
ボールエクササイズ教室	24	536	50	0
転倒予防教室	72	1,765	172	0
認知症予防教室（脳元気教室）	43	961	159	0
健幸介護予防音楽サロン	48	1,047	201	0
介護予防教室 （運動編、脳活編等）	194	3,840	-	0
フレイル予防教室	151	2,003	217	0

4 包括的支援業務 (令和6年3月末現在)

(1) 総合相談支援業務

高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らすことができるように、総合相談を行い、適切なサービスや関係機関等につなげる支援を地域の関係者等と連携を図りながら実施しました。

1 地域包括支援センター総合相談件数

相談内容分類(件数重複あり)

単位：件

担当包括	飯塚・片島 立岩(一部)	飯塚東 菰田	立岩(一部) 鯉田	二瀬	幸袋	鎮西
総合相談	326	91	65	170	104	340
認知症関係	26	89	30	80	23	25
福祉サービス	154	51	101	397	103	115
介護保険サービス	63	178	419	388	146	108
経済的困窮	2	14	11	1	2	5
社会資源紹介	12	20	7	14	4	12
個人の悩み事等	348	195	468	319	96	53
権利擁護・虐待	2	75	45	5	14	5
合計	933	713	1,146	1,374	492	663
65歳以上人口 (R5.9.1)	3,571	3,931	3,676	5,367	3,171	3,408
相談割合	26%	18%	31%	26%	16%	19%
前年度対比増減	△ 36	77	△ 103	298	23	194
担当包括	穂波東	穂波西	筑穂	庄内	穎田	
総合相談	329	107	107	641	204	
認知症関係	18	95	26	201	52	
福祉サービス	76	205	59	88	72	
介護保険サービス	243	280	194	294	99	
経済的困窮	4	31	7	6	4	
社会資源紹介	29	26	11	6	26	
個人の悩み事等	30	359	8	73	292	
権利擁護・虐待	24	172	70	0	16	
合計	753	1,275	482	1,309	765	
65歳以上人口 (R5.9.1)	3,141	4,814	3,638	3,361	2,146	
相談割合	24%	26%	13%	39%	36%	
前年度対比増減	253	127	26	29	397	

相談者分類(件数重複あり)

単位：件

担当包括	飯塚・片島 立岩(一部)	飯塚東 菰田	立岩(一部) 鯉田	二瀬	幸袋	鎮西
本人	571	228	386	547	141	246
家族	134	182	278	202	126	182
介護支援専門員	75	65	93	123	74	78
介護サービス事業者	26	31	55	90	51	20
民生委員等	16	45	43	42	30	13
知人・近隣者	7	13	11	22	13	8
医療関係者	54	52	125	91	10	58
関係機関等	50	47	161	252	37	53
合計	933	663	1,152	1,369	482	658
担当包括	穂波東	穂波西	筑穂	庄内	穎田	
本人	165	380	120	408	258	
家族	184	251	134	317	106	
介護支援専門員	87	160	69	82	84	
介護サービス事業者	50	57	39	60	110	
民生委員等	21	45	40	46	49	
知人・近隣者	24	26	3	8	24	
医療関係者	84	113	32	214	73	
関係機関等	114	72	43	155	45	
合計	729	1,104	480	1,290	749	

(2)権利擁護業務(令和6年3月末現在)

尊厳のある生活を維持するために、権利擁護に係る相談や情報提供をはじめ、成年後見制度の利用支援、高齢者虐待の早期発見とその対応を行いました。

1 高齢者虐待防止

ア. 養護者による高齢者虐待 相談・通報受理件数 42件

うち、虐待の疑いがある、または虐待を受けたと判断した件数 14件

イ. 要介護施設従事者等による高齢者虐待 相談・通報受理件数 3件

うち、虐待の疑いがある、または虐待を受けたと判断した件数 2件

2 消費者被害の防止

高齢者を狙う悪質商法が近年、多様化、巧妙化していることから、警察や消費生活センターからの被害情報をもとに民生委員や介護支援専門員等に適切な情報提供を行うなど、消費者被害の防止に努めました。

3 成年後見申立の状況

相談件数 8件、うち成年後見市長申立件数 4件

(3)包括的・継続的ケアマネジメント業務

支援困難事例に対する介護支援専門員への助言や地域の介護支援専門員のネットワークづくり等により、高齢者に対する包括的・継続的な支援を実施しました。

1 介護支援専門員による個別支援

ケアプラン作成等を通じた介護支援専門員のケアマネジメントの指導や介護支援専門員が抱える支援困難事例の解決を行うため、保健師や主任介護支援専門員が個別の相談に応じ、介護支援専門員の負担軽減やスキルアップに努めました。

2 地域密着型運営推進会議の出席状況

市内64の地域密着型サービス事業所が開催している地域密着型運営推進会議に延べ227回参加しました。

3 地域ケア会議の開催

要支援認定を受けた高齢者の自立支援や困難事例等をテーマに多職種の専門職よりアドバイスを受け、また、その積み重ねから発見された地域課題を共有し、その解決に向けた協議を行う地域ケア会議を地域包括支援センターにおいて計62回（146事例）開催しました。

4 地域ケア会議の見直し

令和6年度以降に実施する個別地域ケア会議について、効率的かつ効果的な会議運営を目指すことを目的として、下記のとおり、会議の実施に係る各種見直しを行いました。

ア. 事例選定基準の見直し

利用者を自立につなげやすく助言による効果、結果を評価しやすいことから、「新規で要支援の認定を受けた筋骨格系疾患の概ね70歳代の高齢者」を基本としていましたが、令和6年度からは、対象を要介護2まで拡大するとともに、「医療との連携に課題があるケース」「認知症高齢者」を加えることで、高齢者個人に対する支援の充実と地域課題の把握を行います。

現状	見直し後
(1) 自立支援型 新規で要支援1又は2の認定を受けた筋骨格系疾患の概ね70歳代の高齢者 (2) 困難事例 新規がない場合、「継続」や「困難事例」も含めて、地域ケア会議の目的を達成するための適切な事例	(1) 自立支援型 要支援1～要介護2までの軽度認定者（新規を優先） ①筋骨格系疾患の概ね70歳代の高齢者 ②医療との連携に課題があるケース ③認知症高齢者 (2) 困難事例 地域住民・関係機関からの求めに応じて開催

イ. 様式の見直し

個別地域ケア会議での議論がより、高齢者の支援へ繋がるよう、個別地域ケア会議シートを作成し、「申請前の暮らし・本人の生活など」「望む暮らし（目標とする生活）」「生活課題」について、事前に整理するよう見直します。

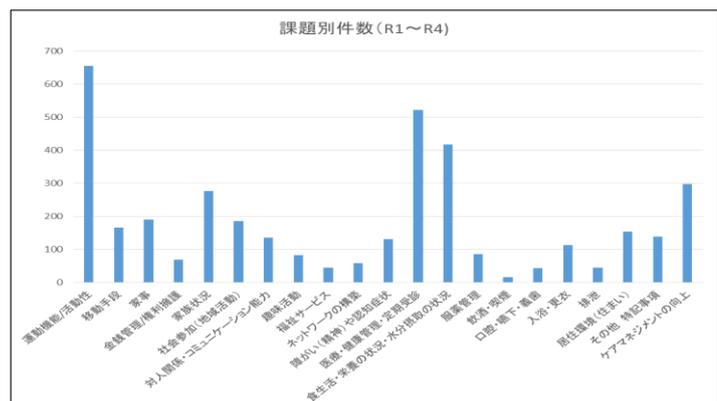
ウ. 抽出する課題項目について

個別地域ケア会議において抽出する地域課題について、令和元年度から令和4年度までの実績を参考に、21項目から11項目へ縮小するとともに、会議録を参考に包括職員が選定していた方式を改め、課題整理表を活用して会議の場で議論していただく方式に見直します。

現状	
1	運動機能/活動性
2	医療・健康管理・定期受診
3	食生活・栄養の状況・水分摂取の状況
4	ケアマネジメントの向上
5	家族状況
6	家事
7	社会参加（地域活動）
8	移動手段
9	居住環境（住まい）
10	その他 特記事項
11	対人関係・コミュニケーション能力
12	障がい（精神）や認知症状
13	入浴・更衣
14	服薬管理
15	趣味活動
16	金銭管理/権利擁護
17	ネットワークの構築
18	福祉サービス
19	排泄
20	口腔・嚥下・義歯
21	飲酒・喫煙



見直し後	
1	運動機能の向上・維持
2	栄養改善
3	認知症
4	障がい（精神）
5	金銭の課題
6	家族課題
7	居住環境（住まい）
8	周辺環境（道路、店など）
9	医療・介護サービスの課題
10	社会参加（閉じこもり）
11	趣味活動（QOL向上）



5 指定介護予防支援業務

対象者がどのような生活を送りたいかという具体的な目標を明確にし、高齢者の心身の状況や生活環境、生活機能低下が生じた原因に応じて総合的かつ効果的な支援計画を作成し、サービス提供を確保するとともに、一定期間経過後は初期目標の達成状況を評価し、必要に応じて計画の見直しを図りました。

また、サービス事業所の偏りについては、計画作成時に複数のサービス事業所等を提示のうえ確認するとともに、サービス事業所等からの指摘や苦情等もなかったため、公平性・中立性については確保されているものと判断しています。

1 認定者数(令和6年3月末現在)

単位：人

区分	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	計
1号被保険者数	550	1,666	1,591	1,527	1,133	1,165	634	8,266
	△ 19	29	79	△ 1	4	△ 57	△ 54	△ 19
2号被保険者数	5	18	5	15	9	13	8	73
	1	△ 2	△ 1	2	△ 1	△ 1	△ 2	△ 4
計	555	1,684	1,596	1,542	1,142	1,178	642	8,339
	△ 18	27	78	1	3	△ 58	△ 56	△ 23
65歳以上人口における 1号被保険者の認定割合 (%)	1.4%	4.1%	4.0%	3.8%	2.8%	2.9%	1.6%	20.5%
	0.0	0.0	0.2	0.0	0.0	△ 0.1	△ 0.1	△ 0.1

※下段は、前年度対比増減

2 サービス利用者数(令和6年3月末現在)

単位：人

区分	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	計
居宅サービス 利用者数	410	1,433	1,248	1,275	669	550	260	5,845
	△ 33	12	49	29	△ 37	△ 41	△ 23	△ 44
地域密着型サービス 利用者数	0	2	310	316	202	165	98	1,093
	0	0	△ 10	9	△ 2	△ 33	△ 8	△ 44
施設介護サービス 利用者数	-	-	82	109	339	497	304	1,331
	-	-	6	△ 15	16	△ 9	10	8

※下段は、前年度対比増減

3 介護予防支援及び介護予防ケアマネジメント実績(令和6年度3月末現在)

※要支援1・2及び事業対象者

単位：件

項目		飯塚・片島 立岩(一部)	飯塚東 菰田	立岩(一部) 鯉田	二瀬	幸袋	鎮西
		地域包括支援 センター分	新規	59	64	62	78
	継続	1,759	1,958	2,207	2,398	1,809	1,648
	計	1,818	2,022	2,269	2,476	1,857	1,695
居宅介護支援 事業者分 (委託)	新規	9	14	7	18	13	7
	継続	419	708	456	1,171	311	431
	計	428	722	463	1,189	324	438
合計		2,246	2,744	2,732	3,665	2,181	2,133

※要支援1・2及び事業対象者

単位：件

項 目		穂波東	穂波西	筑穂	庄内	穎田
地域包括支援 センター分	新規	47	70	60	49	14
	継続	1,500	2,385	1,595	1,498	796
	計	1,547	2,455	1,655	1,547	810
居宅介護支援 事業者分 (委託)	新規	4	14	19	8	14
	継続	560	507	765	296	457
	計	564	521	784	304	471
合 計		2,111	2,976	2,439	1,851	1,281

4 介護予防支援業務委託事業所数(令和6年3月末時点)

単位：件

項 目	飯塚・片島 立岩(一部)	飯塚東 菰田	立岩(一部) 鯉田	二瀬	幸袋	鎮西
飯塚市内	14	23	20	23	23	15
飯塚市外 (遠隔地を含む)	0	6	2	8	4	3
計	14	29	22	31	27	18
項 目	穂波東	穂波西	筑穂	庄内	穎田	
飯塚市内	21	18	14	14	11	
飯塚市外 (遠隔地を含む)	4	5	4	2	5	
計	25	23	18	16	16	